



国土交通省東北地方整備局

Tohoku Regional Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

記者発表

S61.8 洪水から30年
～逃がす・防ぐ・取り戻す～

平成28年9月30日
福島河川国道事務所

昭和61年8月5日洪水から30年を振り返る「座談会」を開催します ～教訓を後世に語り継ぐ取組～

阿武隈川上流全域で甚大な被害を被った「昭和61年8月5日洪水」から、
今年で30年となります。

今回、昭和61年8月洪水を体験した消防団、被災者、行政関係者の方にお集まり
いただき、座談会を開催し、当時を振り返っていただくとともに、今後の治水事業や水
害対応等についてお話しいただき、その内容を教訓として後世に引き継いでまいりま
す。

近年、昨年9月の関東・東北豪雨や今年8月の台風10号をはじめとして、局地的集中豪
雨等による大規模災害が多発しています。一方、水害経験者の高齢化や水害を経験して
いない世代もあり、洪水の恐ろしさが薄れ行く傾向にあります。このような背景を踏まえ今
回、過去の洪水を風化させず、後世に語り継ぐとともに、地域住民の防災意識の向上を目
的に、座談会を開催します。また、今回の座談会の記録をホームページ等での公開や各種
会議・イベント等で配布することにより、広く一般の方々にも、洪水の恐ろしさを知り、学び、
そして地域と一体となって考えるきっかけづくりといたします。

【開催概要】

1. 日 時:平成28年10月5日(水)13:30～15:30
2. 場 所:杉妻会館 2階「芙蓉の間」 福島市杉妻町3-45
3. 次第及び出席者:別紙1 (※聴講者を含めて約50名を予定)
4. 公開等:
 - (1)本会議は公開としております。
 - (2)報道関係者の席を用意しております。
 - (3)一般の方で座談会の傍聴を希望される方は、会場の都合により数に限りがあり
ありますので先着順とさせていただきます。(10名程度を予定)
5. その他:
 - (1)阿武隈川沿川市町村等で7/7～9/30まで開催していた巡回パネル展の
パネル展示を上記会場でも予定しています。

※本座談会は「阿武隈川上流大規模氾濫時の減災対策協議会」の取組の一環として開催しています。

《発表記者会:福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ、郡山記者クラブ》

＜ 問い合わせ先 ＞

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
TEL 024-546-4331(代表)

副所長(河川担当) さとう かつみ 佐藤 勝美(内線 204)

建設専門官 なかの たかし 中野 孝(内線 407)

「昭和61年8月5日洪水から節目の30年」の座談会

日時:平成28年10月5日(水)13:30~15:30

場所:杉妻会館 2階「芙蓉の間」

司会:福島河川国道事務所 副所長

次 第

1. あいさつ
2. 昭和61年8月洪水の概要
3. 座談会
 - (1)自己紹介
 - (2)当時を振り返って
 - (3)水害対応について
4. その他
5. 閉会

座談会出席者

氏 名	お住まい(現在及び当時)	当時の関わり
佐藤 昭治氏	(伊達市(旧梁川町)在住)	梁川町役場職員
金子 三男氏	(伊達市(旧梁川町)在住)	被災者
渡辺 之忠氏	(福島市在住)	福島市消防団団員
國分 良修氏	(本宮市(旧本宮町)在住)	本宮市消防団団員
降矢 正氏	(郡山市在住)	被災者
村上 一郎氏	(郡山市在住)	郡山市役所職員
中沢 重一氏		福島河川国道事務所職員
石井 宏明		(福島河川国道事務所長)

計 8名

※()内は現職